

2010-2011 年度 青少年交換委員会

委員長 豊岡 敬(富田林)
副委員長 茂野 芳久(羽衣)
委員 小池 秀樹(美原) 水崎 哲男(岩出) 加藤 彰宏(和歌山)
田原 サヨ子(和歌山アゼリア) 尾羽根 伸幸(堺フェニックス)
林 寛吉(和歌山北)

【活動基本方針】

次代を担っていく青少年に長期プログラムでは1年間、短期プログラムでは数週間外国で学校生活・家庭生活をすることにより、国際的な視野を広げ、お互いの国の文化・歴史を理解し、将来活躍できる人材に育成すると共に、世界的な友好と平和の輪を広げていくことを目指します。この壮大な目的を達成する為に、ロータリークラブを始め、地域の関係者、学校、支援者の方々にご理解ご協力を頂き、プログラムに携わった方々全てと感動を分かち合えるように、安全と成果を心がけて進めていきます。また、青少年交換プログラムのOB、OG組織である、ROTEXの活性化を促し、ロータリーファミリーとしての自覚を持たせることによって、帰国後も長年に亘る人材の育成に寄与していきます。

【活動計画】

- ①2010-11年度は、8名の受入と派遣を行います。
- ②2011-12年度は、10名程度の学生の募集・選考を行います。
- ③年間5～6回程度のオリエンテーションを開催します。オリエンテーションでは、受入学生に対しての生活指導とカウンセリングを行うと共に、毎回のスピーチを通じて、日本語や日本文化に対する習熟度の確認を行います。派遣学生に対しては、派遣準備の指導を行い、受入学生同様に英語や現地語によるスピーチも開催致します。
- ④近隣地区（2660地区・2680地区）の青少年交換委員会やROTEXとも協力しあい、共同開催行事として、姫路での1泊オリエンテーションや広島バスツアー等も開催します。
- ⑤RYLA、インターアクト、ロータアクト等の他の新世代プログラムにも協力をしていきます。
- ⑥ROTEXの協力も得ながら、受入学生と派遣予定学生の交流を深めます。
- ⑦危機管理委員会とも連携を取りながら、交換学生に対する心身の安全に留意をしながら、プログラムを進めていきます。